

令和7年度 長岡まちなか若者事業サポート支援金 活用事例紹介

未来のパン屋さん大作戦！『みんなで創るわくわくパン自由研究』

（主催：ひと×まち創造委員会）

- ＜支援額＞ 5万円
- ＜日時＞ 令和7年7月20日(日)
- ＜会場＞ assemble 長岡
- ＜内容＞ 長岡に住む子どもたちが地域や大人と関わりながら、まちの元気につながるような活動を体験できる場を「まちなか」に提供することを目的に実施。子どもと地域の大人が混成チームを組み、長岡に根ざした資源や文化をヒントにオリジナルの“長岡パン”を企画。粘土でイメージを具現化し、チーム対抗でプレゼンテーションを行った。



まちなかぶんかさい（主催：ゆるまち実行委員会）

- ＜支援額＞ 14万4千円
- ＜日時＞ 令和7年9月27日(土)
- ＜会場＞ 大光銀行本店 駐車場
- ＜内容＞ まちなかに若者が訪れたいと思うきっかけとなるコンテンツを揃えたイベントを開催。「若者の挑戦の場づくり（チャレンジショップ）」と「まちの使い方提案イベント」の二本立てで実施し、起業意欲の促進と中心市街地への興味を惹くような内容を実施した。



恋バナなカフェ（主催：市内高校2年生）

- ＜支援額＞ 5万7,972円
- ＜日時＞ 令和7年10月25日(土)・26日(日)、令和8年2月15日(日)
- ＜会場＞ まちまち、ときどきカフェ。
- ＜内容＞ 「恋バナ」という共通の話題をきっかけに、市内の高校生や大学生が学校の枠を超えて出会い、恋愛体験や悩みを共有することで、新しいつながりを作れる場所を創出することを目的に開催。「恋バナ」にかけて「濃いバナナジュース」と「濃いバナナケーキ」を用意することで、話題や記憶に残るよう工夫を凝らした。



食で地域を活性化しよう！ ～地産地消推進プロジェクト～

（主催：市内高校2年生）

- ＜支援額＞ 2万9,139円
- ＜日時＞ 令和8年11月1日(土)
- ＜会場＞ ミライエ長岡 パッサージュウエスト
- ＜内容＞ 地産地消の推進を通じて、食事から地域の活性化に取り組むことを目的に、地元の食材を使ったレシピを作り、広める活動を行った。
CLIP 長岡のチャレンジショップ&お試し出店の制度を利用して「みんなのミライエマルシェ」でブース出店を行い、「鶏肉ときのこの炊き込みおにぎり」「里芋の豚汁」を販売した。



NUT CAFE（主催：長岡技術科学大学コーヒーサークル）

- <支援額> 18万5,983円
<日時> 令和7年9月27日(土)ほか計9回実施
<会場> まちまち、ときどきカフェ。
HAKKO Trip（長岡駅前）、あったか横丁
（アオーレ長岡）等への出店
<内容> 中心市街地におけるポップアップコーヒースタンドの展開を通じて、まちなかの新たな賑わい創出と地域活性化を目指し、自家焙煎のコーヒーを提供。シェアキッチンでの出店のほか、まちなかイベントへの出店を行い、交流の促進を図った。



「CAFÉ Meclu」POP-UP café およびイベント出店（主催：和田桜花）

- <支援額> 8万円
<日時> 令和7年11月15日(土)ほか計4回実施
<会場> まちまち、ときどきカフェ。
クリスマスマーケット（アオーレ長岡）への出店
<内容> 地元食材を活用したおやつとドリンクの提供を通じて、長岡の中心市街地に新たな賑わいを創出することを目的に実施。シェアキッチンでの出店、イベント出店を行った。
また、単なるカフェ営業ではなく、「食」を通じた小さな活動の発信や、起業や独立だけではない、自分が余裕のある時間で好きな事にチャレンジするライフスタイルの発信にも取り組んだ。



ジビエバーガー（主催：長岡技術科学大学 山本研有志 ジビエバーガー）

- <支援額> 15万7千円
<日時> 令和7年12月12日(金)ほか7回開催
<会場> まちまち、ときどきカフェ。
一夜限りのおでん屋さん（フェニックス大手イスト前）、あったか横丁（アオーレ長岡）への出店
<内容> 地域資源を活用した新しい食文化を長岡のまちなかの新たな魅力と位置づけ、発信することを目的に長岡産イノシシ肉を使用したジビエバーガー等の販売を実施。まちなかでのイベント出店及びシェアキッチンでのBAR形式営業により、新しい人の流れと賑わいの創出に取り組んだ。



Swingin' Nagaoka（主催：Swingin' Nagaoka）

- <支援額> 13万3千円
<日時> 令和8年2月28日(土)
<会場> まちなかキャンパス長岡
<内容> スウィングダンスという新たな文化活動を通じて、まちなかにおける多世代・多文化交流による賑わいづくり、地域経済の活性化、長岡の魅力発信につなげるため、韓国人講師を招聘したダンスパーティーやワークショップを開催。

